

平成 20 年 2 月 25 日
公共サービス改革推進室

平成 19 年度及び 20 年度
「私のしごと館における体験事業」の実績評価について（案）

I 事業の概要等

1 実施の経緯及び事業の概要

独立行政法人雇用・能力開発機構（以下「機構」という。）の設置・運営する私のしごと館における体験事業については、公共サービス改革基本方針（平成 18 年 9 月 5 日閣議決定）において民間競争入札を実施すること等を決定した。これを受けて機構は官民競争入札等監理委員会の議を経て「私のしごと館における体験事業 民間競争入札実施要項」（以下「実施要項」という。）を定めた。実施要項に基づき、機構は民間競争入札を実施し、受託事業者を選定した。実施要項で定められた事業の概要は以下のとおりである。

事 項	内 容
事業概要	私のしごと館で実施している職業体験事業のうち、業界団体や伝統工芸団体等の協力により実施している職種以外の 5 職種について職業体験事業を実施。
契約期間 （下記 3. 参照）	平成 19 年 4 月 1 日～平成 22 年 3 月末日
受託事業者	(株)コングレ
契約金額(落札額)	139,349,700 円（税込）
業務にあたり確保 されるべき質	職業体験事業利用者に対する体験終了後のアンケート調査の集計結果において、80%以上の利用者から良かった旨の評価を得ること。
インセンティブ	委託金額計画額から契約金額を差し引いた範囲内で、全職種の体験利用者実績数が体験事業の規模（延べ定員）に比べ増加の割合により算出するものとする。

2 受託事業者決定の経緯

応札のあった事業者1社について、実施要項に定めた入札要件等の審議を行った結果、受託事業者として決定した。

3 事業の中止について

本事業は、平成19年4月1日～平成22年3月31日を実施期間として契約が行われたものの、「独立行政法人整理合理化計画」（平成19年12月24日閣議決定）において、私のしごと館について「運営を包括的に民間に委託し、第三者委員会による外部評価を実施し、その結果を踏まえて、1年以内に存廃を含めその在り方について検討を行う。」と定められたことを受け、包括的民間委託による運営が始まる前日の平成20年8月31日をもって終了し、本事業受託事業者との契約解除を行った。

II 評価

1 評価方法について

平成20年11月11日付で機構から提出された平成19年度及び平成20年度8月末までの事業の実施状況についての報告（別添）に基づき、サービスの質の確保、実施経費等の観点から、平成18年度の職業体験事業を含め、実績評価を行うものとする。

2 サービスの質の確保についての評価

（1）実施結果

本業務において確保されるべき質として設定されている職業体験事業利用者への満足度調査の結果は表1のとおりである。

【表1 利用者満足度】

職業名	要求水準	19年度	20年度 (4～8月)	18年度
①宇宙開発	80%以上	99.0%	98.4%	
②雑誌編集の仕事	80%以上	98.4%	96.2%	
③プログラマー	80%以上	98.2%	96.6%	
④CGデザイナー	80%以上	98.5%	100%	
⑤小型製品組立の仕事（玩具）	80%以上	100%	100%	
合計	80%以上	98.9%	98.2%	94.1%

(2) 評価

受託事業者が実施した平成 19 年度及び平成 20 年度の職業体験事業では、全ての職種で利用者の満足度が 96%以上となっており、機構の中期目標を参考に定められた要求水準である 80%以上を大きく上回っている。また、全体を合計した満足度は、平成 19 年度が 98.9%、平成 20 年度が 98.2%であり、平成 18 年度の満足度 94.1%を上回っており、サービスの質の向上がみられたと認められる。

なお、当室から受託事業者へヒアリングを行なったところ、受託事業者はサービスの質を確保するため、講師・運営スタッフのスキルアップのための研修、運営マニュアルの見直し等を行なったとの回答を得ている。

3 実施経費等についての評価

(1) 実施経費

受託事業者実施による平成 19 年度及び 20 年度 8 月末までの実施経費と平成 18 年度の実施経費は表 2 のとおりである。なお、平成 19 年度及び平成 20 年度の委託費については、契約金額を契約年月数で除した金額に配置人員数の変化を考慮した調整を加えた金額を月別に支払っており、表 2 の数値は、実施期間の月別委託料の合計である。

【表 2 実施経費】

	19 年度	20 年度 (4～8 月)	18 年度
実施経費 (円) (利用者 1 人当たりの経費)	44,340,975 (933)	18,649,181 (944)	47,920,828 (1,085)

(2) 評価

利用者 1 人当たりの経費で見ると、平成 18 年度が 1,085 円だったのに対し、平成 19 年度は 933 円、平成 20 年度は 944 円となり、各年度とも平成 18 年度より約 13～14%のコストの低減が達成されたことが認められる。

4 評価のまとめ

上記のとおり、平成 19 年度、20 年度とも、要求されたサービスの質が高い水準で達成されていること、利用者 1 人当たりの経費は平成 18 年度より低いコストで実施されたことを踏まえると、民間競争入札の目的である公共サービスの質の向上とコストの削減が一定程度達成されたと評価できる。

また、インセンティブの支払には至らなかったものの、平成 18 年度から 19 年度にかけて総定員数は同水準であるに対し総利用者数は増加したことも評価できる。

なお、本事業の PR のため、受託事業者による独自のイベントが「私のしごと館」内外で行われるなど、受託事業者の創意工夫が発揮されている。以上

(独) 雇用能力開発機構

平成19年度及び平成20年度私のしごと館における職業体験事業の実施状況について

1 事業概要

私のしごと館（以下「しごと館」という。）における適職の選択等、若年者のキャリア形成を支援するための職業体験事業のうち、業界団体や伝統工芸団体等の協力により実施している職種以外の5職種を一括して民間事業者に委託して市場化テストを実施。

(1) 実施期間

平成19年4月1日から平成20年8月31日までの1年5ヶ月間

※ 整理合理化計画（平成19年12月24日閣議決定）を踏まえ、厚生労働省は経済界、教育界等の有識者による「私のしごと館のあり方検討会」を設置し、しごと館のあり方を議論し、同検討会において、しごと館の包括的民間委託の視点・考え方を取りまとめた。その後、行政減量・効率化有識者会議においても了解が得られたため、この視点・考え方に沿って私のしごと館の管理・運營業務を委託する民間事業者を落札決定し、平成20年9月1日より2年間で委託期間とする業務委託を開始したところである。

(2) 事業実施機関

(株)コングレ

(3) 実施要項で定められた実施規模及び対象職種

対象職種	定員	開催回数(1日)	開催日数	規模(延べ利用者数)
宇宙開発	19年度 15人 20年度 15人	3回	304日 130日	13,730人 6,090人
雑誌編集の仕事	19年度 20人 20年度 25人	3回	174日 67日	10,442人 4,775人
プログラマー	19年度 18人 20年度 20人	3回	171日 67日	8,794人 3,527人
CGデザイナー	19年度 6人 20年度 6人	3回	303日 130日	6,882人 3,240人
小型製品組立の仕事(玩具)	19年度 24人 20年度 24人	3回	304日 130日	27,795人 13,293人
合 計			1,780日	98,568人

(4) 職業体験事業の実施に当たり確保されるべき質

体験利用者に対するアンケートの満足度80%以上

(5) 機構が行う必要な助言、協力

民間事業者は、次のイ又はロの場合、速やかに業務の改善策を作成・提出し、機構の承認を得た上で実施するものとする。なお、民間事業者は、改善策の作成及び実施に当たり、機構に対して必要な助言、協力を求めることができる。

イ 機構が、民間事業者からの報告に基づき、良かった旨の評価が80%に満たないことを確認した上で、業務の改善が必要と判断し民間事業者にそれを求めた場合。

ロ 機構が、事業実施を随時モニタリングし、企画書記載事項の不履行を認めた上で、業務の改善が必要と判断し、民間事業者にそれを求めた場合。

(6) 体験事業の実績評価

① 調査項目

イ 体験職種の定員

ロ 延べ利用者数

ハ 体験利用者に対する体験終了後のアンケート集計結果

ニ 体験実施経費

② 実績評価

平成18年度にしごと館が実施した5職種の実績と比較評価

2 調査結果

(1) 調査項目の調査結果

別紙のとおり

(2) 調査結果における特記事項

イ 体験終了後の利用者からの満足度調査結果について、受託者の実施による平成19年度及び平成20年度いずれの年度においても、5職種の満足度調査結果において、98%を超える高い評価を得られた。

ロ 受託者による実施要項における規定以外の体験事業等の実施

(イ) 私のしごと館外での実施

・ソフトピアジャパンセンター（岐阜）で、CGデザイナー及び雑誌編集の出張体験を実施し、「私のしごと館」のPR活動を実施（H19年11月23日）。

実績 34名（CGデザイナー21名、雑誌編集13名）

(ロ) 私のしごと館内での実施

- ・宇宙開発 「望遠鏡&星座早見盤を作ろう」(平成19年度夏休み) 364名
- ・宇宙開発 「宇宙教室」 (平成19年9月16日) 81名

ハ 体験実施経費については、各年度の体験開催日数が異なるため単純な比較が困難であるが、しごと館実施分と(株)コングレ実施分を下記のように比較すると、1人あたり149円程の削減効果があった。

しごと館実施分

47,920,828 円 (平成 18 年度実施経費) ÷ 44,151 人 (平成 18 年度延べ利用者数)
≒1,085 円－①

(株) コングレ実施分

62,990,156 円 (平成 19・20 年度実施経費) ÷ 67,304 人 (平成 19・20 年度延べ利用者数)
≒936 円－②

936 円－1,085 円＝▲149 円 (②－①)

ニ インセンティブの有無

平成 19 年度及び平成 20 年度いずれにおいても、体験利用者実績が前記 1 (3) に示す規模を下回り、インセンティブは無かった。

ホ モニタリングの実施結果

問題となる事例は見受けられなかった。

市場化テスト対象5職種の実績比較

職種名	実施年度	開催日数 (日)	実施主体	体験実績			体験利用者に対する体験終了後のアンケート調査の集計結果					体験実施経費
				時間数	定員	延べ利用者数	調査対象者数 (人)	有効回答数 (人)	回答率(%)	良かった(人)	満足度(%)	
					イ	ロ			ハ			
1 宇宙開発	H18	295	しごと館	885	13,275	9,519	1,343	1,343	100.0%	1,264	94.1%	—
	H19	304	(株)コングレ	912	13,730	8,725	203	203	100.0%	201	99.0%	—
	H20	130	(株)コングレ	390	6,090	3,875	61	61	100.0%	60	98.4%	—
2 雑誌編集の仕事	H18	213	しごと館	639	14,744	7,612	1,343	1,343	100.0%	1,264	94.1%	—
	H19	174	(株)コングレ	522	10,442	5,759	183	183	100.0%	180	98.4%	—
	H20	67	(株)コングレ	201	4,775	2,039	53	53	100.0%	51	96.2%	—
3 プログラマー	H18	213	しごと館	639	11,508	5,242	1,343	1,343	100.0%	1,264	94.1%	—
	H19	171	(株)コングレ	513	8,794	4,331	112	112	100.0%	110	98.2%	—
	H20	67	(株)コングレ	201	3,527	1,560	58	58	100.0%	56	96.6%	—
4 CGデザイナー	H18	281	しごと館	843	5,460	4,523	1,343	1,343	100.0%	1,264	94.1%	—
	H19	303	(株)コングレ	909	6,882	5,229	200	199	99.5%	196	98.5%	—
	H20	130	(株)コングレ	390	3,240	2,357	50	50	100.0%	50	100.0%	—
5 小型製品組立の仕事(玩具)	H18	301	しごと館	903	22,995	17,255	1,343	1,343	100.0%	1,264	94.1%	—
	H19	304	(株)コングレ	987	27,795	23,505	225	225	100.0%	225	100.0%	—
	H20	130	(株)コングレ	414	13,293	9,924	51	51	100.0%	51	100.0%	—
平成18年度 しごと館 合 計				3,909	67,982	44,151	1,343	1,343	100.0%	1,264	94.1%	47,920,828
平成19年度 (株)コングレ 合 計				3,843	67,643	47,549	923	922	99.9%	912	98.9%	44,340,975
平成20年度(4月～8月) (株)コングレ 合 計				1,596	30,925	19,755	273	273	100.0%	268	98.2%	18,649,181
平成19年度及び平成20年度(4月～8月) (株)コングレ 合 計				5,439	98,568	67,304	1,196	1,195	99.9%	1,180	98.7%	62,990,156

※「良かった(人)」とは、アンケート調査において、体験した職業体験について、「大変良かった」と「良かった」旨の評価を合計した数値。

※平成18年度実績におけるアンケート集計結果については、職種ごとにアンケート調査を実施しておらず、職業体験職種全般に関するものである。

●「私のしごと館における体験事業」に係る市場化テスト評価委員会委員の主な意見

井戸委員（聖泉大学 人間学部教授）

- ・ 市場化テストにおける参加者の満足度が5職種共極めて高いものとなっていることから言えることは、「私のしごと館」の果たす役割は大いにあると考える。しかし、市場化テストにおいて経費の削減がみられるものの今後大幅な経費の効率化が課題といえる。これまでに積み上げてきた「私のしごと館」のノウハウは大いに活用すべきであると考ええる。

田中委員（社団法人日本経済団体連合会 労政第一本部 雇用管理グループ長）

- ・ 特になし

片岡委員（日本労働組合総連合会 男女平等局次長）

- ・ このたび包括的な民間委託業者を決定し、2年間の運営を委託することとなったが、今後は、一部のコースについての市場化テストの評価という限定的な範囲を超え、「しごと館」そのものの運営に関する実績・評価を総合的に行うこととなる。しかし、2年間という短期間では、民間委託による効果を評価するといってもなかなか判断が付きにくい面があるのではないかと。「しごと館」の今後のあり方そのものにも関わってくるが、中長期的な視点から継続的にフォローアップを行うことが重要であると考ええる。
- ・ 「しごと館」のあり方については、厚生労働省の「私のしごと館のあり方検討会」において、専門的な検討が行われ、最終的な方向が年末までに取りまとめられると承知している。この評価委員会の今後の任務にも密接に関わってくることであり、適宜、情報提供をお願いしたい。

山口委員（株式会社エム・エス・コンサルティング 代表取締役）

- ・ 市場化テスト対象5職種すべてにおいて、民間企業コングレは高い満足度を得ており、民間運営によって、しごと館の運営が良くなる可能性を示している。
このような状況下で、十分な検討を経ることなく、しごと館の存廃が決定されることは遺憾なことだと思います。